

2月に多い死亡事故

…運転者も歩行者も おたがいに注意を…

ピーポー、ピーポーという救急車の警笛を聞くたびに「また事故が…」と思わない日はありません。救急車の出動の多くは交通事故です。

昨年1年間に発生した交通事故は1372件。死亡した人は43人にのぼっています。ところで、死亡事故の発生状況を月別にみると、2月が9人と最多発月間となつています。この傾向はここ数年みられ、44年、45年とも2月にもつとも多く死亡事故が発生しています。

そのうえ、死亡者も44年が6人、45年が7人、56年が9人とふえ続けています。事故の傾向は車と歩行者の場合が多く、事故の直接原因としては飲酒運転、無理な追越し、スピード違反、わき見運転などがあげられています。しかし2月に多く発生する原因としては、寒さで動作がにぶくなつていたり、反対に暖房で頭が

ボーとしていたり、窓がくもつて見通しが悪いことが考えられます。

車を運転する人はくれぐれも注意をしてください。また、歩行者も道路を横断するときは、左右の安全を確め、無理な横断や飛び出しは絶対にやめてください。なお、夜間歩いて外出するときは、かいた中電灯、夜光タスキ、夜光

腕章などを身に付けた場合は、事故は大幅に少なくなっています。

いずれにしても、運転者、歩行者ともに事故を起さないように、事故にあわないように、お互いに注意してください。

ちなみに46年の月別の死亡事故発生状況は、1月5人、2月9人、3月4人、4月1人、5月4人、6月6人、7月から9月までが各1人、10月と11月が4人づつ、12月が3人となっています。



〔2月は死亡事故の多発月間。運転者も歩行者も、おたがいの立場で事故を防ぐように注意してください〕

成績が悪かった伝法地区

飲酒運転追放コンクール

年末年始飲酒運転・違法駐車追放市民運動が46年12月11日から47年1月10日まで行なわれました。

期間中の交通事故は109件（物損事故は116件）で、死者1人、負傷者136人をだしています。45年度に比べ、件数は10件（物損は58件）、死者1人、負傷者は17人、それぞれ少なくなっています。しかし、事故件数は昨年の各月の発生状況と比べてほとんど減つておらず、事故防止により多くの注意をお願いします。このうち、飲酒運転による事故が5件発生しており、10人の負傷者をだしています。なお、運動期間中の行事として、飲酒

運転追放コンクールを実施しました。その成績は次のとおりです。成績の順位は事故や違反の多い悪い順です。

■地区別

1位 伝法、2位 岩松、3位 富士第1、4位 今泉、5位 須津、6位 吉原、7位 原田、8位 鷹岡、9位 富士第2

※飲酒運転による無事故、無違反の地区は神戸、吉永第1、吉永第2、浮島、大淵の5地区でした。

■事業所別

1位 日産サニー、2位 富士運送、3位 マルモ製紙、4位 富士急行

1月の交通事故

件数 199件

死者 3人

負傷者 146人

はがきが10円になりました

2月1日から郵便料金が改正

郵便料金が2月1日から1部改正されました。改正されたのは、第1種の手紙・現金書留などと第2種のはがきなど。おもなものは、手紙の定形25㌢が15円から20円に通常はがきが7円から10円になりました。郵便物を発送するときは注意してください。

1月の火災件数

8件発生

損害額 609万円

負傷者 ナシ